



題字：星班、虹班合同【サポートセンターまつば】

『福成会だより』リニューアル！

福成会広報誌「福成会だより」は、本号より名称が「ふふふ」へ、内容とともにリニューアルいたしました。

ふとした瞬間の幸せ、ふんわりおもいだし笑い、ふだん何気ない時に感じる喜びなど。福成会が大切にしているのは、そんな日常や日々を豊かにかえる仕事やできごとです。

ふふふと笑うくらい肩ひじはらず、福成会で行うさまざまなことを通して関わる人たちとのふれあいが生まれるように。「ふくし、ふれあい、ふくせいかい」という想いを「ふふふ」という短い合言葉に込めています。





プリンのような
スタッフに

上田 航太 (うへだ こうた)
【あいあい】

プリンのように無くても困らないが、あったら嬉しいデザートのようなスタッフを目指します!! デザインを作ることに興味があり、好きなフォントはHGPゴシックEです。



スポーツで鍛えた
体力と笑顔

今村 陽花 (いまむら はるか)
【あいあい】

人と関わることが好きなので、積極的にコミュニケーションを取り、バスケットボールとラクロスで鍛えた持ち前の体力と笑顔で頑張っていきたいと思います!!

新田 知奈 (にった ともな)
【杭瀬福成園】

先輩スタッフから教えていただいたことを活かし、利用者だけでなく、全ての方に対して持ち前の明るさを発揮し、元気で笑顔で一生懸命がんばります。よろしくお願いいたします。



持ち前の
明るさを
発揮

山本 瑠奈 (やまもと るな)
【杭瀬福成園】

利用者の方々が笑顔で安心して過ごしていただけるよう、毎日明るく元気に、1人ひとりの方に寄り添った支援を目指して頑張ります。よろしくお願いいたします。



一人ひとりに
寄り添う



自分の
限界を
超える

永井 嘉寿馬 (ながい かずま)
【塚口福成園】

楽しい事が大好きで、仕事も遊びも全力で取り組みます。ゲームでもスリル、緊張感を存分に味わい楽しむので、仕事においても緊張感を持ち、自分の限界を超えられるように根性でがんばります。

令和2年度 新任スタッフ紹介 & インタビュー

今年度は9名が
入職いたしました

無限の
スタミナの
持ち主



磯貝 拓守 (いそが い たくま)
【サポートセンターまつば】

私は持久走が特技で無限のスタミナを持っています。年齢はそんなに若くないですが、フレッシュな気持ちで利用者と明るく楽しく接していくことができたいと思います。



飲み歩きのが
生きがい(自粛中)

安田 龍成 (やすだ りゅうせい)
【清流園】

友達と飲み歩くのが生きがいの安田です(今はもちろん自粛中です) まだまだ分からないことが多いですが、利用者さん一人ひとりに寄り添った支援が出来るように頑張っていくのでよろしくお願いします。



利用者様
ファースト

織田 良夫 (おだ よしお)
【清流園】

身体障害と知的障害を持つ高校一年生男子の父親でもあります。親御様の気持ちも分かりあい、利用者様ファーストで業務を行っていきますのでよろしくお願いします。

息子と遊ぶのが
大好き



栗原 雄亮 (くりはら ゆうすけ)
【清流園】

アンパンマンとトーマスが大好きな2歳の息子と遊ぶのが大好きな栗原です。一人ひとりの思いに寄り添った支援を第一に、笑顔がたくさん見られるよう皆さんと過ごしていきたいと思っています。

今月の「ふふふ」

数か月前と比べると、今の生活は大きく違ってきていますね。我々としても、この大変な局面をみんなで力を合わせて乗り越えていこうと思います。表紙でもお伝えしました「ふふふ」の名前の由来。こういう時期だからこそ、改めて気づけたこと、感じたこともございます。最近の「ふふふ」な話を掲載します。皆さまにおかれましても素敵な日々が過ごせますように…。

『今まで消毒や検温が苦手だった方が、繰り返し行っていくことでできるようになりました。自ら消毒を行う方も！なにごとも繰り返しの経験が必要なんだと改めて実感しました。』

『手作りのマスクを着けている方が増えました。色とりどりの柄でおしゃれな花が咲いているようです。』

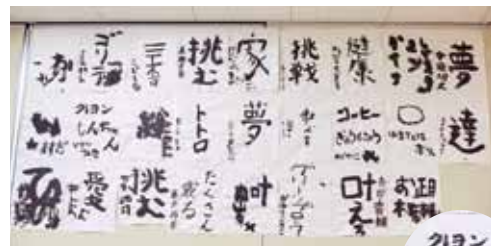
『1時間に1回は換気！注意喚起！と気づけばダジャレを言っていました。恥ずかしい…。』

『こまめな換気で春らしい風が室内に。窓の外に広がる花壇の花や桜の木に癒されます。』

『「消毒液が手に入りました」の一言に「やったー」と大喜び。普段は届いて当たり前だと思っていた。改めて感謝の気持ちに気付かされました。』

ふふふ コラム

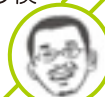
『オンリー・ワンの作品たち』 【あいあい】



思い思いの作品に顔がにやけてしまいます。抱負や目標かなと思いきや、好きなものかな…。いやいや、目標にしているのかもしれない!!と見ている人に豊かな想像力を与えてくれる作品たちです。

『福成会の写真を撮ってみて』 【写真家／伊東俊介】

仕事柄、これまで色々な職場に入ってきましたが、働く人たちの明るい表情を、こんなに楽に撮れたのは初めてでした。ほんとに皆さん活きいきとされていて、撮影しながら僕まで元気にしてもらっちゃいました。笑



実藤 栄治
「特大ヘリコプター」



鈴山 真治「パズル」



安達 麻里「桜」



嵐 健治「嵐」



岡地 憲一郎「海」



岡本 勇太「春霞」

清流園 誌上作品展

【清流園】

3月に開催予定だった作品展に向けて作った作品たち。「せっかくの作品をいろいろな方に見てほしい!」そんな思いで、本誌に掲載。私たちの作品を是非みてください☆



岩本 ひろ子「ふぐ」



岡本 毅「名前」



菊池 孝之「電車」



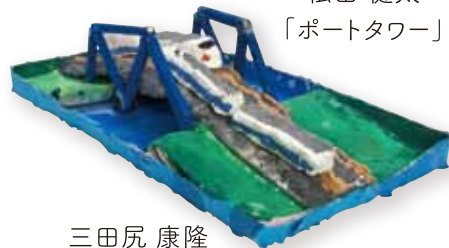
坪倉 卓也「スノーズレン」



山田 理紗「家」



松田 健太
「ポートタワー」



三田尻 康隆
「東海道新幹線55周年」

今年度、第11回福成会事業所実践発表会を8月開催予定で企画しておりましたが、コロナウイルスの影響が長期化しているため、開催を中止することとなりました。その他、各事業所の行事等につきましても、延期または中止とさせていただく場合がございます。ホームページにも情報を掲載いたしますのでご確認くださいと思います。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

< 中止や延期になった主なイベント（地域主催含む） >

- ・夢いっぱい工房（杭瀬福成園）
- ・お花見バーベキュー大会、盆踊り（あいあい）
- ・さくら祭り（塚口福成園）



各事業所からのお知らせ

清流園

2020年6月で30周年を迎えます。『笑顔の清流園』を大切に40年、50年と突き進んで参ります。今後とも、よろしくお願いいたします。

杭瀬福成園

これからも利用者支援の向上と地域とのつながりを大切にしていまいります。全スタッフが『ワンチーム』で情報共有を行い、笑顔と活気あふれる事業所を目指して頑張ります！

あいあい

暗い話題ばかりが多いですが、あいあいは利用者の意思決定、地域との関係作り、その情報発信を明るくやっています。そんなあいあいを引き続きお願いいたします。

サポートセンターまつば

事業所名の「まつば」に込められた、“松の葉のように寄り添い、支え合って困難を乗り越えよう！”の精神で、今年度も同建物内の「ぶちるば」や「リレ」と力を合わせ『ワンチーム』で頑張ります！！

塚口福成園

4月からの新利用者2名を迎え令和2年度が始まりました。装いも新たになりました広報誌のとおり「ふふふ」と笑える雰囲気を中心に本年度もスタッフと地域が一丸となって利用者の笑顔を支えていきたいと思ひます。

チャレンジ・コヤリバ

チャレンジ・コヤリバの就労移行では、昨年度に会社へ就職した人が4名でした。仕事内容は、清掃や緑化、事務補助の仕事です。清掃では、老人福祉センターで訓練をして、技術を身につけて就職されています。

尼崎市障害者就労・生活支援センターみのり

障害者施設では、焼き菓子や雑貨など手づくり商品を作っています。商品には、作り手の独創性やこだわりや工夫などたくさんの想いが込められています。それら商品販売を販路開拓でサポートしています。

ショートステイぶちるば

暖冬を越えての春ですが、ぶちるばでは季節だけでなくその日の気温・室温等で対応を変えています。夏・冬布団、空調や風呂の温度設定、湿度管理など。今日も快適な宿泊をご提供いたします。

セントラル

今年度は老朽化ホームからの住み替えがあります。広報誌がお手元に届くころには順次、新たな生活がスタートします。引き続き利用者の生活に寄り添った支援を『ワンチーム』で頑張っています！

編集後記

令和2年度5月号の広報誌は大リニューアルをしてお届けさせて頂きました！福成会での「ふふふ」となる情報は勿論、大切なお知らせも発信していきます。「ふふふ」をお読みになられた方も、何かふふふとなる事があれば是非是非お知らせください。最後になりましたが、新しいスタッフが福成会の仲間となり新年度が始まりました。福成会スタッフ一丸となり利用者に寄り添った支援をさせていただき、日々精進して参ります。今年度もよろしくお願いいたします。

